

国立山口徳地青少年自然の家 教育事業

# 改訂 幼稚園教育要領・保育所保育指針等解説シンポジウム ～これからの幼児教育・保育を学び、考える研修会～

平成30年3月10日(土)・11日(日)

## 【目的】

改訂される要領・指針が目指すことや実践上の留意点等を理解するとともに、幼児の自然体験の意義や指導方法について理解する。

【参加者】 80名(申込84名) <1日目日帰り:43名, 2日目日帰り47名, 宿泊:5名>

## 【プログラムの内容】

### 1日目

- 13:30 開会行事
- 13:50 特別講演「自然体験が子どもを育てる」
- 15:30 幼児対象事業の見学
- 16:30 解説「幼児の自然体験の意義と指導方法」
- 18:30 幼児対象プログラム体験

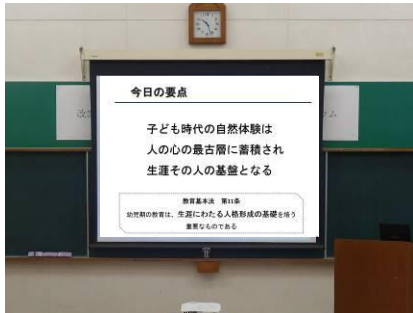
### 2日目

- 9:30 幼児対象事業の見学
- 10:00 シンポジウム
- 12:00 閉会行事

### 【パネリスト】

文部科学省視学官  
湯川 秀樹 氏  
厚生労働省保育指導専門官  
鎮目 健太 氏  
内閣府教育保育専門官  
横澤 峰紀子 氏

## 特別講演「自然体験が子どもを育てる」 講師 山口大学名誉教授 友定啓子 氏



友定先生には、自然体験が幼児をどう成長させるかについて講演いただきました。幼児期の教育は「生涯にわたる人格形成の基礎」となるほど重要であること、幼児は感覚・感情で世界をとらえること、自然

体験は幼児の感覚・感情に大きな影響を与えること等について話されました。

## 幼児対象「キッズチャレンジキャンプ」の見学



幼児を対象としたキャンプを同時開催し、新しく設置した遊び場で子供達が遊んでいる様子を観察してもらいました。

いろいろな場を設定し、どういった遊具をどう設置したら、子供達の自発的な遊びが生

まれるのかについても考えてもらい、所属施設で幼児を遊ばせる参考にしてもらいました。

## 解説「幼児の自然体験の意義と指導方法」

講師 山口大学教育学部附属幼稚園 高田和宜 氏



事業見学の後、高田先生による解説を聞きました。最初は、幼児対象事業で行った「森歩き」の様子を紹介しながら、自然体験によって伸びる幼児の力やその力を伸ばすための指導者の関

わり方について話され、次に、幼児の遊び、動きの特性とそれに適合した園庭づくりについて話されました。



## 幼児対象プログラム体験



夜も幼児対象事業と合同で行いました。室内で行える様々な遊びを紹介し、幼児と一緒に体験してもらいました。

大小様々な木の板や角材でコースを作り、玉を転がす遊びでは、玉がゴールまで転がるように途中の仕掛けを工夫している様子を見てもらいました。

一本橋やターザンロープなどを使った遊びでは、バランスをとったり跳んだり、ぶら下がったりと様々な動きをしながら遊んでいる様子を見てもらいました。

## 改訂 幼稚園教育要領・保育所保育指針等 解説シンポジウム



国立青少年教育振興機構 鈴木理事長のコーディネートのもと、3府省のパネリストに改訂のポイントや今後の方向性について解説していただきました。

幼稚園・保育所・認定こども園がしっかり整合性を図り、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を明確にしたこと、小学校教育との円滑な接続を重視していること等話していただきました。



### 【参加者の声】

「解説」を聞いて、子供達の自発的な活動の重要性を理解できた。自然体験の必要性を感じた。実際に子供達が遊んでいる様子を見学出来て参考になった。多くの改訂の研修を受けたが、わかりやすく1番良かった。

### 【成果】

体験と理論、その背景となる要領・指針をセットで学ぶことができ、参加者に改訂の意味等を納得してもらうことができた。

### 【課題】

より多くの参加者に来てもらうためには、実施時期や広報の工夫がさらに必要である。